



Tokyo Bay Cluster Dogshow 2025

JUDGE MEMBER



Augusto Benedicto Santos III 【フィリピン】

アウグスト・ベネディクト・サントス三世（通称ディンキー）はフィリピン出身の FCI All-Breed 国際審査員です。現在 FCI Asia, Africa & Oceania セクションのプレジデント。幼少期からドッグショーに親しみ、1988 年以降はラブラドル・レトリバーに注力し、犬舎「サンシャドウ・ラブラドル」を通じてフィリピンの犬界発展に大きく貢献しました。これまでに 120 頭以上のチャンピオン犬を所有・繁殖し、その多くが自家繁殖犬です。1998 年に審査員として活動を始め、2011 年にオールラウンダーとなりました。これまでに 70 か国以上で審査を行い、ワールドドッグショー（2009～2024）をはじめ、メルボルンロイヤル、サンタバーバラ KC、全米ナショナルドッグショーなど世界的な主要展覧会でも審査を務めています。

Shawn James Nichols はバンクーバーを拠点とする Dog show judge 兼マーケティング専門家です。1982 年に犬の世界に入りカルガリーに拠点を移し 2008 年にはカナダの Non-Sporting 部門で 1 位、All-Breed で 10 位に輝き、ハンドリングで大きな成功を収めました。

2007 年には Terrier Type magazine を買収後 2010 年まで編集長兼オーナーを務め企業部門にも転身、営業・マーケティングの業務に携わり、事業開発に携わりました。マーケティングの専門知識を磨いたあと、2012 年に審査員の世界に入り、Toy, Non-Sporting, Hound Groups の一部で資格、2022 年には All-Breed の資格を取得。Group1 から 7 の審査員資格と Best in Show の資格を有していて国際的な審査員としての経歴があります。Westminster Kennel Club（2022、2024 年）、Poodle Club of America（2023 年）、Sydney Royal Easter Show（2024 年）といった権威あるイベントで審査員を務めた実績があります。また、プードルや倫理的なソーシャルメディアの実践といったテーマについて審査員向けに講演を行うことでも知られています。



初来日
First visit to Japan

Shawn Nichols 【カナダ】



Linda Volarikova 【スロバキア】

1989 年に初めて犬を飼ったイングリッシュ・スプリング・スパニエルでスロバキアの搜索救助選手権で優勝、アジリティにも挑戦しました。最初のショードッグはアメリカンコッカースパニエルであり、あまり良い成績は残せませんでしたがこの犬種にすっかり魅了され、現在まで繁殖とショーに携わっています。限られた範囲で繁殖を行い 66 頭のチャンピオン犬を育て INT.CH.41 頭、BIS 数頭、そして World Winner1 頭が含まれます。今でも自分の犬を出場させています。またドーベルマンも積極的に活動してきました。審査員として初めては 2002 年で、もちろんアメリカンコッカースパニエルでした。それ以来 FCI のほとんどのグループでより多くの犬種の審査が認められ、ワールドショーを含む 40 か国で審査員を務める栄誉に恵まれました。若い人たちが犬界に献身的に取り組んでいることに深く感謝しており、ジュニアハンドリング競技会の審査も好んで行っています。アメリカの学校に通っていたので英語が得意です。スロバキアだけでなく、ワールドショー、その他の重要な多くのショーでメインリングアナウンサーを務めてきました。犬を間近で観察するだけでなく、様々な犬種を詳細に研究することができました。私は仕事の前には多くの準備をするのが好きです。



Tokyo Bay Cluster Dogshow 2025

JUDGE MEMBER



Etsuko Ishimaru 【日本】



Sei-Ichiro Ishimaru 【日本】



初来日

First visit to Japan

Jonathan Marshal 【オーストラリア】

ダルメシアンブリーダーの息子としてイギリスに生まれ数々のチャンピオンを輩出、複数の Group winner や BIS dog も含まれ数十年にわたりその犬種の記録を保持。子供の頃、ラブラドル、ワイマラナー、ケアン・テリア、チベタン・テリアの飼育にも積極的にに関わり Crufts Junior Handling Final に出場。10 代の頃乗馬にも情熱を注ぎプロのポロ選手としても活躍しました。

1982 年、オーストラリアで開催のダルメシアン・ナショナルでメルボルンに移住し Group winner や BIS 犬を輩出した伝統は受け継がれてきました。

1990 年代初頭に審査員としてスタート、2019 年には All-breed の資格を取得し世界各地で BIS と BISS を授与する栄誉に輝いています。デンマークでの World Show で Group 1st を獲得。現在娘のエミリーがオーストラリアで 1 位にランクインしたダルメシアンの育成に取り組んでいる次世代が伝統を受け継いでいることを誇りに思っています。ペット業界に尽力し、クラブ運営を通して大きく貢献、複数の統括団体の委員にも就任。ダンディ・デインモント・テリア、グラン・バセット・グリフォン・ヴァンデーン、ウィペット、ドーベルマン、プチ・バセット・グリフォン・ヴァンデーンなどを迎え入れてきました。現在、スタンダード・プードルのブリーダーと生活を共にし深く尊敬し、感謝するようになりました。

幼い頃から犬に囲まれて育ち、2005 年にヨークシャー・テリアと出会ったことがきっかけで犬の世界との関わりが始まりました。2009 年にはマルチーズ、2011 年にはパピオンを飼い始め、長年にわたり、Mr.Surak Nogkaew と共同で尽力してきました。2009 年にタイ生まれて初めての World Winner のヨークシャー・テリアの繁殖など、大きな成果につながりました。

自家繁殖のパピオンは 2014 年に World Winner、2018 年には Euro Winner そして Crufts Group Winner を獲得しました。2019 年にはマルチーズが World Winner になりました。2020 年からポメラニアンの繁殖とショーにも積極的に取り組み、2022 年に繁殖したポメラニアンが World Winner タイトルを獲得しました。2014 年に FCI 審査員となり、現在は FCI Group 1,2,3,4,5,7,8,9,10 そして BIS 審査員資格を有しています。タイ、オーストラリア、デンマーク、インドネシア、ロシア、チェコ共和国でチャレンジ証明書を授与しています。現在タイのパピオンクラブの副会長とタイのヨークシャー・テリアクラブの副会長を務めています。



初来日

First visit to Japan

Ponkrit Yaprom 【タイ】



Tokyo Bay Cluster Dogshow 2025

JUDGE MEMBER



初来日

First visit to Japan

Anna Brankovic [セルビア]

モスクワで生まれ育ち、後に金融法学研究所で法律の学位を取得しました。2002年にセルビアに移住し現在は夫、3人の息子、ブルマスティフ1匹と共にベオグラードに住んでいます。

6歳の時、両親からエアデール・テリアの子犬をプレゼントされ、それ以来彼女の人生は犬の世界と切り離せないものとなりました。

その後、ラブラドル・レトリバーの繁殖を始め、BlondessEmpireという犬舎名で数々の国際チャンピオンやマルチチャンピオンを輩出しました。

過去25年以上にわたり、アンナは世界中で審査員を務め、北米、南米、アフリカ、アジア、オーストラリア、そしてヨーロッパのほぼすべての国で、数々の権威あるドッグショーに参加してきました。

2002年からUKU/FCI (Group2、5、9)のエキスパートであり、kennel Blackrottmarを経営しています。

トレーナー、IPO、ブリーダーを経て、EJWやWJWなど、権威あるショーで何度も勝ち抜いた犬を輩出し、現在は審査員を務めています。

2004年から2016年まで、ロットワイラー、ブリュッセル・グリフォン、ポメラニアンブリーディングに携わってきました。

現在は、2008年からチワワケネルを経営しています。

(WJW' 14、EJW' 12、EJW' 22 winner)

犬は私にとって情熱であり、愛であり、人生の大きな部分を占めています。



初来日

First visit to Japan

Maryna Plotnikova [ウクライナ]

生まれてからずっと動物に囲まれて育ち馬術競技では常に高いレベルで出場してきました。その後、犬の世界に足を踏み入れショーや繁殖に携わるようになりました。ラサ・アプソから始め、アメリカン・コッカー・スパニエル、ボストン・テリア、ミニ・ワイヤー・ダックスフント、ピエパー・テリアにも携わりました。2005年からFCI公式審査員を務め、FCI Group9と4の審査員資格に加えGroup3と8の一部犬種の審査員資格も取得しています。グループ審査員、BIS審査員も務めています。多くの国で審査員を務める栄誉に恵まれました。ブリーダーとして世界中で100頭以上のアメリカン・コッカー・スパニエルのチャンピオンを育ててきたことを大変誇りに思っています。2014年オランダで開催されたWorld challenge dog, All breed winnerは、私が飼育、所有、ハンドリングをした犬です。今でも大変誇りに思っています。アメリカン・コッカー・スパニエルの繁殖を続けています。審査員を務めさせて頂く事を光栄に思っています。皆様とお会い出来るのを楽しみにしています。



Wilma Strijbos [オランダ]